

## 水稻の8月下旬の巡回調査結果の概要

【東北信】 調査日 8月21日、22日、25日

＜東北信地域の巡回調査ほ場：東信15ほ場、北信14ほ場、計29ほ場＞

### 1 紋枯病

- (1) 発生地点率は、東信地域では平年と比べやや高く、北信地域では平年と比べ高かった。
- (2) 発病株率は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ低かった。

### 2 もみ枯細菌病

- (1) 発生地点率は、東信地域、北信地域ともに平年と比べかなり高かった。
- (2) 発病穂率は、東信地域、北信地域ともに平年と比べかなり高かった（写真1）。



写真1 もみ枯細菌病（穂枯症状）（北信地域）

### 3 萎縮病

発病は、巡回調査を実施したほ場ではみられなかった。

### 4 稲こうじ病

発病は、巡回調査を実施した1ほ場でみられた。

### 5 縞葉枯病

- (1) 発生地点率は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ高かった。
- (2) 発病株率は、東信地域では平年と比べ低く、北信地域では平年と比べ高かった。

### 6 ウンカ類・ツマグロヨコバイ

#### (1) ヒメトビウンカ

ア すくい取り調査（ネット20回振）における発生地点率（成虫）は、東信地域、北信地域ともに平年並であった。

イ 平均捕獲頭数（成虫）は、東信地域では平年と比べ高く、北信地域が平年と比べやや高かった。

#### (2) ツマグロヨコバイ

ア すくい取り調査（ネット 20 回振）における発生地点率（成虫）は、東信地域では平年と比べ高く、北信地域では平年と比べ低かった。

イ 平均捕獲頭数（成虫）は、東信地域では平年と比べやや多く、北信地域では平年と比べ少なかった。

#### (3) セジロウンカ

ア すくい取り調査（ネット 20 回振）における発生地点率（成虫）は、東信地域では平年と比べ低く、北信地域では平年と比べ高かった。

イ 平均捕獲頭数（成虫）は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ少なかった。

#### (4) トビイロウンカ

すくい取り調査（ネット 20 回振）においては、巡回調査を実施したほ場で成虫の発生はみられなかった。

### 7 斑点米カメムシ類

(1) すくい取り調査（ネット 20 回振）における発生地点率は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ高かった。

(2) 平均捕獲頭数は、東信地域では平年と比べ多く、北信地域では平年と比べやや多かった。

(3) 斑点米カメムシ類の種類は、アカスジカスミカメ、ホソハリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメの順であった。

### 8 その他

#### (1) イナゴ

ア すくい取り調査（ネット 20 回振）における発生地点率は、東信地域ではほぼ平年並、北信地域では平年と比べ高かった。

イ 平均捕獲頭数は、東信地域では平年と比べやや多く、北信地域では平年と比べやや少なかった。

#### (2) クサキリ・ササキリ類

ア すくい取り調査（ネット 20 回振）における発生地点率は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ高かった。

イ 平均捕獲頭数は、東信地域では平年と比べやや多く、北信地域ではほぼ平年並であった。

#### (3) フタオビコヤガ（イネアオムシ）の幼虫

ア 幼虫 25 株払落し調査における発生地点率は、東信地域、北信地域ともに平年と比べ高かった。

イ 平均捕獲頭数は、東信地域では平年と比べ少なく、北信地域では平年と比べやや高かった。

【中南信】 調査日 8月21日、22日、26日、27日

＜中南信地域の巡回調査ほ場：南信15ほ場、中信18ほ場、計33ほ場＞

1 紋枯病

(1) 発生地点率は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ低かった。

(2) 発病株率は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ低かった。常習発生ほ場では、病斑の上位葉鞘への進展がみられた。

2 もみ枯細菌病

発病は、巡回調査を実施したほ場ではみられなかった。

3 萎縮病

発病は、巡回調査を実施したほ場ではみられなかった。

4 稲こうじ病

発病は、巡回調査を実施したほ場ではみられなかった。

5 縞葉枯病

発病は、巡回調査を実施したほ場ではみられなかった。

6 ウンカ類・ツマグロヨコバイ

(1) ヒメトビウンカ

ア すくい取り調査（ネット20回振）において、すべての調査ほ場で捕獲された。発生地点率（成虫）は、南信地域、中信地域ともに平年並であった。

イ 平均捕獲頭数（成虫）は、南信地域、中信地域ともに多かった。

(2) ツマグロヨコバイ

ア すくい取り調査（ネット20回振）における発生地点率（成虫）は、南信地域で平年と比べやや高く、中信地域でやや低かった。

イ 平均捕獲頭数（成虫）は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ少なかった。

(3) セジロウンカ

ア すくい取り調査（ネット20回振）における発生地点率（成虫）は、南信地域では平年並、中信地域では平年と比べ低かった。

イ 平均捕獲頭数（成虫）は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ少なかった。

(4) トビイロウンカ

すくい取り調査（ネット20回振）において、捕獲されなかった。

7 斑点米カメムシ類

(1) すくい取り調査（ネット20回振）における発生地点率は、南信地域では平年並、中信地域では平年と比べ高かった。

(2) 平均捕獲頭数は、南信地域では平年並、中信地域では平年と比べ多かった。

(3) 斑点米カメムシ類の種類は、アカスジカスミカメ、ホソハリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメが多く捕獲され、アカスジカスミカメ、ホソハリカメムシは幼虫の発生が多いほ場が散見された。

8 その他

(1) イナゴ

ア すくい取り調査（ネット20回振）における発生地点率は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ低かった。

イ 平均捕獲頭数は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ少なかった。

(2) クサキリ・ササキリ類

ア すくい取り調査（ネット20回振）における発生地点率は、南信地域、中信地域ともに平年並であった。

イ 平均捕獲頭数は、南信地域では平年と比べやや少なく、中信地域では少なかった（写真2）。



写真2 クサキリ類の食害による白穂(南信地域)

(3)フタオビコヤガ(イネアオムシ)の幼虫

ア 幼虫 25 株払落し調査における発生地点率は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ低かった。

イ 平均捕獲頭数は、南信地域、中信地域ともに平年と比べ少なかった。

(4)中信地域の巡回調査ほ場で、ダイメイチュウ(イネヨトウ)食害による白穂がみられた(写真3)。



写真3 ダイメイチュウ(イネヨトウ)による食害  
(中信地域)